



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 株式会社 中京銀行  
 コード番号 8530 URL <http://www.chukyo-bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 深町 正和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 永井 涼  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 052-249-1613

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,878	△8.3	1,516	12.2	807	113.4
26年3月期第1四半期	8,590	1.0	1,351	85.5	378	△6.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 4,065百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △3,606百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.76	3.75
26年3月期第1四半期	1.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,861,167	98,426	5.2
26年3月期	1,832,403	95,230	5.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 97,278百万円 26年3月期 94,118百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	2.50	4.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	△1.4	1,700	15.0	1,000	30.5	4.66
通期	30,900	△4.4	3,700	△27.4	2,200	△25.3	10.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	217,459,581 株	26年3月期	217,459,581 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	2,623,601 株	26年3月期	2,827,797 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	214,684,728 株	26年3月期1Q	214,135,684 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【添付資料】

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
継続企業の前提に関する注記 .....	6
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
4. 平成27年3月期 第1四半期決算説明資料 .....	7
(1) 損益の状況（単体） .....	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体） .....	7
(3) 自己資本比率（国内基準）（速報値） .....	8
(4) 時価のある有価証券の評価差額（単体） .....	8
(5) デリバティブ取引（単体） .....	8
(6) 預金・貸出金の残高（単体） .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、緩やかな回復基調が継続しており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も、徐々に和らぎつつあります。

先行きについては、駆け込み需要の反動の影響が次第に薄れ、各種政策効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待されます。その一方で、海外景気の下振れが、我が国の景気を下押しする懸念を残しております。

金融情勢につきましては、日本銀行が昨年4月に実施した量的・質的金融緩和の継続や、世界的な低金利政策の影響により、長期金利は0.6%を挟む水準で推移しました。なお、足元では0.5%台の前半まで低下しております。また、オーバーナイト物金利は、おおむね0.06%台で推移しました。

このような経済金融情勢の下、当グループの第1四半期連結累計期間の営業成績は次のとおりとなりました。

経常収益は、利回り低下による貸出金利息収入の減少や、国債等債券売却益および株式等売却益の減少などにより、前年同期比7億12百万円減少し78億78百万円となりました。また、経常費用は、営業経費の削減や、国債等債券売却損の減少、および貸倒引当金繰入額の減少などにより、前年同期比8億77百万円減少し63億62百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比1億65百万円増加し15億16百万円となり、第1四半期純利益は、前年同期比4億29百万円増加し8億7百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、貸出金は、取引先の資金ニーズに積極的にお応えするよう努めましたが、資金需要の低迷により、前年度末比219億円減少し1兆2,024億円となりました。また有価証券は、国債や受益証券を中心に前年度末比281億円増加し5,566億円となりました。

一方、負債の部では、預金は、キャンペーンを実施し魅力的な商品の提供に努めた結果、前年度末比130億円増加し1兆6,653億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年3月期の業績見通しにつきましては、平成26年5月15日公表の予想数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を計算基準日における退職給付債務結果が複数の割引率（国債のイールドカーブ）で計算した結果と一致するように単一の割引率を設定する方式（加重平均割引率（等価方式））へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が600百万円増加し、利益剰余金が388百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10百万円増加しております。

（「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」の適用）

当行は、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号平成25年12月25日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	47,511	70,724
商品有価証券	326	293
有価証券	528,465	556,609
貸出金	1,224,437	1,202,470
外国為替	7,175	7,485
その他資産	10,682	9,736
有形固定資産	20,665	20,523
無形固定資産	3,949	3,860
繰延税金資産	952	949
支払承諾見返	7,550	7,637
貸倒引当金	△19,313	△19,123
資産の部合計	1,832,403	1,861,167
<b>負債の部</b>		
預金	1,652,331	1,665,363
コールマネー及び売渡手形	-	15,400
借入金	10,610	7,409
外国為替	9	4
社債	30,000	30,000
その他負債	25,918	24,238
賞与引当金	732	374
退職給付に係る負債	4,366	4,782
睡眠預金払戻損失引当金	365	357
偶発損失引当金	873	868
繰延税金負債	1,055	2,971
再評価に係る繰延税金負債	3,358	3,332
支払承諾	7,550	7,637
負債の部合計	1,737,173	1,762,741
<b>純資産の部</b>		
資本金	31,844	31,844
資本剰余金	23,184	23,184
利益剰余金	20,054	19,980
自己株式	△707	△660
株主資本合計	74,375	74,348
その他有価証券評価差額金	15,389	18,621
繰延ヘッジ損益	△203	△276
土地再評価差額金	5,150	5,102
退職給付に係る調整累計額	△593	△517
その他の包括利益累計額合計	19,742	22,930
新株予約権	43	57
少数株主持分	1,068	1,089
純資産の部合計	95,230	98,426
負債及び純資産の部合計	1,832,403	1,861,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
経常収益	8,590	7,878
資金運用収益	6,338	6,084
(うち貸出金利息)	4,481	4,170
(うち有価証券利息配当金)	1,758	1,851
役務取引等収益	1,121	1,283
その他業務収益	588	220
その他経常収益	543	290
経常費用	7,239	6,362
資金調達費用	653	586
(うち預金利息)	473	392
役務取引等費用	404	397
その他業務費用	399	139
営業経費	5,056	4,972
その他経常費用	725	266
経常利益	1,351	1,516
特別損失	160	103
固定資産処分損	14	3
減損損失	146	100
税金等調整前四半期純利益	1,190	1,412
法人税、住民税及び事業税	163	118
法人税等調整額	626	463
法人税等合計	789	582
少数株主損益調整前四半期純利益	400	830
少数株主利益	22	22
四半期純利益	378	807

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	400	830
その他の包括利益	△4,006	3,235
その他有価証券評価差額金	△4,089	3,231
繰延ヘッジ損益	83	△73
退職給付に係る調整額	-	75
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
四半期包括利益	△3,606	4,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,629	4,042
少数株主に係る四半期包括利益	23	23

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。



## 4. 平成27年3月期 第1四半期決算説明資料

## (1) 損益の状況（単体）

	(単位：百万円)			(単位：百万円)	
	前年同四半期 〔平成26年3月期 第1四半期〕	当四半期 〔平成27年3月期 第1四半期〕	比較	中間期予想 〔平成27年3月期 中間期〕	通期予想 〔平成27年3月期〕
経常収益	8,307	7,636	△671	15,200	29,800
業務粗利益	6,314	6,184	△130		
資金利益	5,660	5,479	△181		
役務取引等利益	520	679	159		
その他業務利益	133	24	△109		
経費（除く臨時処理分）	4,909	4,817	△92		
人件費	2,582	2,514	△68		
物件費	1,984	1,944	△40		
税金	342	357	15		
業務純益（一般貸倒繰入前）	1,404	1,367	△37		
コア業務純益	1,296	1,375	79	2,500	5,600
一般貸倒引当金繰入(①)	△358	-	358		
業務純益	1,763	1,367	△396	2,700	6,100
うち国債等債券損益(5勘定戻)	108	△8	△116		
臨時損益	△562	2	564		
うち株式等関係損益	294	-	△294		
うち不良債権処理額(②)	792	102	△690		
うち貸倒引当金戻入益(③)	-	166	166		
経常利益	1,201	1,369	168	1,600	3,400
特別損益	△160	△103	57		
税引前四半期純利益	1,040	1,265	225		
法人税、住民税及び事業税	128	72	△56		
法人税等調整額	603	501	△102		
四半期(中間・当期)純利益	308	691	383	900	2,000
与信関係費用(①+②-③)	434	△63	△497		

## (2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示（単体）

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	平成25年6月末	平成26年6月末	比較	(参考) 平成26年3月末
破産更生債権及びこれら に準ずる債権	21,610	16,733	△4,877	16,310
危険債権	33,540	30,571	△2,969	32,128
要管理債権	9,904	9,805	△99	9,948
合計 (A)	65,054	57,109	△7,945	58,386
正常債権	1,122,626	1,162,993	40,367	1,183,642
総与信合計 (B)	1,187,680	1,220,102	32,422	1,242,028
総与信に対する割合 (A/B)	5.48%	4.68%	△0.80%	4.70%

## (3) 自己資本比率（国内基準）（速報値）

	平成26年6月末		(参考)平成26年3月末	
	単体	連結	単体	連結
(1) 自己資本比率(2) / (3)	11.25%	11.55%	11.06%	11.35%
(2) 自己資本の額	105,502	109,487	105,393	109,236
(3) リスク・アセットの額	936,987	947,170	952,380	962,239
(4) 所要自己資本額(3) × 4%	37,479	37,886	38,095	38,489

(注)平成26年3月末より新しい自己資本比率規制(パーゼルⅢ)に基づき算出しております。

## (4) 時価のある有価証券の評価差額（単体）

	平成25年6月末				平成26年6月末				(参考)平成26年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	532,227	17,065	21,176	4,110	551,070	27,068	29,427	2,358	522,909	22,199	25,131	2,932
株式	28,030	11,804	12,173	368	32,620	14,905	15,240	335	30,026	13,094	13,528	434
債券	378,535	4,768	5,200	432	375,198	7,891	7,899	7	369,288	7,263	7,279	16
その他	125,661	493	3,802	3,309	143,252	4,270	6,286	2,015	123,594	1,841	4,323	2,482

## (5) デリバティブ取引（単体）

## ①金利関連取引

区分	種類	平成25年6月末			平成26年6月末			(参考)平成26年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	金利スワップ	—	—	—	374	△10	△10	383	△11	△11

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## ②通貨関連取引

区分	種類	平成25年6月末			平成26年6月末			(参考)平成26年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	6,624	△8	△8	11,443	△17	△17	10,393	△15	△15
店頭	為替予約	54,069	△740	△740	66,584	365	365	54,885	△61	△61

## (6) 預金・貸出金の残高（単体）

	平成25年6月末	平成26年6月末	比較	(参考)平成26年3月末
	預金(末残)	1,641,254	1,671,642	30,388
貸出金(末残)	1,165,435	1,202,014	36,579	1,224,442